

本町田町内会だより

第 57 号
平成 28 年 1 1 月
本町田町内会

“町内会合言葉”

☆心にゆとりを
☆唇に微笑を
☆目に輝きを

各避難施設ごとに「避難施設開設訓練」 が行われました。

三中での訓練が行われる前の日(10月21日)に「鳥取県中部で最大震度6弱」がおきました。「火山国・火の国 JAPAN」何時・何処で大きな地震が起きてもおかしくないと言われています。

多摩直下地震が30年以内に70%の確率で起きると言われています。30年なんてすぐですよ！

まず自分の身・家族の身を守る為にも『家具の転倒防止』『防災用品』『命をつなぐ食べ物の備蓄』をまだの人は、すぐ始めてください。

『三中避難施設開設訓練で町田市防災安全課の金子さんの講話では天気予報で降水確率70%と報道されれば皆さん傘を持って出かけますよね！災害も同じです、そのためにも準備怠りなく。』とのことでした。

本町田町内会で長年防災訓練をして、『消火器の使い方』『炊き出しの仕方』『三角巾の使い方』『タンカの組み立て使用方法』『トイレの組み立て』『避難施設までの経路』等を身に付けてきました。スタンドパイプの訓練もしましたね！大きな災害が自分の身に起き避難施設で避難生活を余儀なくされたとき、どのような心構えが必要かも考えましょう。

狭い場所で共同生活をすること自分ひとり、自分の家族だけではない事を考え、「**絶えず周りの人に気を使い、苦しくとも周りの人に少しでも笑顔で接して、必ずこの避難施設から出て前の通りの生活ができるという希望をもって避難生活を送る事が大事だと思います。**」

本町田町内会の合言葉に通じるものが有ります。

各避難施設開設訓練の様子を簡単に紹介いたします。

開始された順に紹介します。

*本町田小学校

平成28年9月22日 14:30~16:30 参加人員 169名 内本町田町内会 45名 子供 20名程

訓練内容

- ① 救助犬実演(ボランティア活動) 14:50-15:25 (35分間)雨天のため体育館ステージにて実演:ボランティア6名、救助犬4頭 跳び箱を3個並べその中のどこかに1人が入り、救助犬に探させる。最初に隊員が実演、次に先生が2名、児童が1名、同様に隠れた跳び箱を探し当てた。
- ② アルファー化米:給食資材搬入屋根の下にて炊き出し、昇降口脇にて配付する。(同時に児童にはチューペット各2本づつ一緒に渡す。大人も持ち帰った。)
- ③ 発電機・投光器:体育館入口脇屋根の下で実演実施(取説よりガソリン満タンで4時間、エコタイプであれば8時間程度)
- ④ 起震車:正門昇降口前にて体験実施
- ⑤ 仮設トイレ組立:体育館前方で実施(1個のみ)
- ⑥ 濾水機ろすいき:昇降口・事務室の間、外屋根の下で実施



* 東小学校

平成 28 年 10 月 16 日 午前 8 : 30 ~ 12 : 00 参加人員 442 名 内本町田町内会 75 生徒 27 名

訓練内容

黄色の安否確認旗

で災害時の安否確認を行いました。

- バルーン投光器使用訓練
- 仮設トイレ設置訓練
- 生徒による防災に対する寸劇。



寝ている時を
想定した演技



災害を想定してどういう行動がいいかクイズ形式○?×?で避難者に問いかけた。
スーパーにいる時・エレベーターに乗っている時・料理をしている時・寝ている時

- 炊き出し訓練：アルファー化米の炊き出しを行いおにぎりや豚汁を用意し、参加者全員で体育館にて寸劇鑑賞しながら食事をしました。442個のおにぎりを時間内で作ることが出来たことは、地域の人達の協力性・まとまり・パワーを感じました。



* 第三小学校

平成 28 年 10 月 16 日 午前 9 : 30 ~ 11 : 00 参加人員 201 名 内本町田町内会 39 名
児童の参加取り組みを行ったが参加は少なかった、先生は多く参加された。

訓練内容

訓練としては水、食料、トイレ、照明の4つの訓練を実施した。

- * 水は濾水機訓練、
- * 食料はアルファー化米炊き出し訓練、
- * トイレは仮設トイレ設置訓練、
- * 照明は夜間照明とした。

4つの訓練を各々2~3自治会が担当し、各訓練項目を毎年交替して担当することにより、4年間ですべて自治会が各訓練をマスターできる体制とし、2年目だ。



* 第三中学校

平成 28 年 10 月 22 日 午前 10 : 00 ~ 11 : 00 参加人員 25 名 内市職員 5 名
今回の訓練は避難施設の開設担当者(市の指定職員)が中心となって実施された。
各地区の役員の役割分担はなかった。

訓練内容

- * 各自自宅から避難施設(三中)へ歩いてルートや所要時間の確認
- * 体育館で防災 DVD 上映
- * 市職員による防災講話

「Be Alive」(生きる)と「避難所開設・運営」が上映された。
「市職員による講話」

- * 避難施設のレイアウトづくり
立ち入り禁止場所の明確化。お年寄り、障害者はトイレの近くに。
- * 運営
役割は一部の人に偏らないように。音が気になる。ペットの問題。
三者の協力が必要。市役所は指示にまわる。
施設の安全を確認してから中に入る。

